

公益財団法人富山コンベンションビューロー

平成26年度事業報告書

1 誘致・支援事業

(1) コンベンション主催団体・大学等への誘致活動

コンベンション主催団体や県内の大学の学会等担当者を対象に、コンベンション開催に関する支援の内容等を説明するとともに、学会等の事務局を訪問し誘致活動を実施。

(2) コンベンション主催者に対する支援

① コンベンション開催支援事業補助金

- ・ 伝統芸能公演披露助成 15 件
- ・ 県内観光バス等借上助成 10 件
- ・ 派遣サービス助成 3 件
- ・ シャトルバス送迎 6 件

② 歓迎看板の設置（J R 富山駅、富山空港等）34 件

③ コンベンション・ボランティアの派遣

- ・ インフォメーション業務 15 件 延べ 75 人
- ・ アシスタント業務 8 件 延べ 96 人
- ・ ボランティア研修の実施

（9 月：岩瀬、2 月：高志の国文学館等）

④ コンベンションタクシー半額利用券の発行（2,406 枚）

⑤ 手提袋、飲食マップ、観光パンフ等の提供（随時）



J R 富山駅の歓迎看板



インフォメーションコーナーでタクシー券発行

(3) データーベースの管理

コンベンション主催団体（約 4,000）のデータを管理し誘致活動に資する。

2 広報・宣伝事業

(1) 国際ミーティング・エキスポ（IME）に出展

期 日 平成26年12月9日～10日

会 場 東京国際フォーラム 展示ホール

来場者 3,452 人

※ 当ビューローから 362 団体に招待状を送付。

当ブース来訪の相談件数 62 件、アンケート件数 86 件。



IMEでの商談風景

(2) 機関紙の発行

機関紙「とやま夢大陸」を年4回発行。賛助会員、県内外の学会主催者等に送付（約 3,000 部）。

(3) インターネットによる広報・宣伝

ホームページの全面リニューアル。

3 企画・調査事業

(1) 参加者アンケート調査

県内で開催されたコンベンション参加者を対象に、宿泊日数、交通の利便性、富山の印象、観光の有無、消費額等についてアンケート調査を実施。

(2) コンベンション統計の作成

平成25年度に県内で開催されたコンベンションについて、実態調査を行い、統計として取りまとめたものを関係機関、賛助会員等に配布（400部）。

4 情報の収集・提供・ネットワーク化促進事業

(1) コンベンションスケジュールの作成

平成26年度に本県で開催予定のコンベンションについて、県内の自治体、大学、研究機関、公立施設、学会の主催団体等、約600の機関・団体を対象に、年2回調査し作成。関係機関、賛助会員等に配付（500部）。

(2) 日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー主催の会議等への参加

日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）主催の会議、中部コンベンション連絡協議会等に参加し、情報交換。

(3) 各種コンベンション、セミナーへの後援、協賛

(4) ネットワーク化の推進

① コンベンション懇談会の開催（11月、富山国際会議場）

旅行業やホテル・施設・飲食等の関係者からなる懇談会を開催し、意見交換。

② 賛助会員交流セミナー（11月、富山国際会議場）

公立大学法人首都大学東京 産業技術大学院大学教授を講師に招き、講演会（演題：「コンベンションビジネスの戦略～関連業界に求められるもの～」）を開催。

③ 「コンベンション連絡調整会議」等の開催

県や関係市町等との情報の共有化、連携の強化を図るため、定期的に連絡調整会議等を開催。